

## 令和3年度第2回総合教育会議 会議録

日 時 令和4年2月21日(月) 午前10時30分～午前11時38分  
出席者名 深浦市長、松本教育長、酒見教育委員、松永教育委員、山口教育委員、西山教育委員

出席を求めた事務局職員

総合政策部長(東嶋) 総合政策部企画政策課長(松本)、教育部長(多久島) 教育副部長兼教育総務課長(梶原)、学校教育課長(中尾)、生涯学習課長(川口)、市民図書館長(鴻上)、スポーツ課長(春田)、施設営繕課長(吉永)

議 題

- 1) いじめ・不登校の現状と対策について
- 2) 新型コロナウイルス感染症対策について
  - ①学校、留守家庭児童クラブにおける感染症対策
  - ②臨時交付金を活用した感染症対策事業
- 3) 学校規模適正化協議について
- 4) 令和4年度当初予算案(教育費)について

議事録署名者 酒見教育委員

傍聴者 1名

開 会

事務局(企画政策課長)

ただ今から令和3年度第2回総合教育会議を開催します。  
深浦市長からご挨拶をお願いします。

市 長

おはようございます。令和3年度第2回総合教育会議ということで教育委員の皆さまにはお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。コロナの猛威がなかなか減りません。できるだけ早くワクチン接種を進めたいと思っています。

私が4月までの任期になり、今期最後の総合教育会議になると思います。ずっと子どもたちの教育を第一に課題に掲げてきました。エアコン設置やGIGAスクール構想と同時に、学校規模適正化など皆様方と話をさせていただきました。少しでも子どもたちの教育環境が良くなるようにということが私の最大の願いであり、皆様方のご支援を受けながら4年間できたものとお礼申し上げます。まん延防止等重点措置は3月6日まで延びました。先日の臨時市議会では学校の水道蛇口の非接触化について予算化していただき、12月議会では通学路の確保のための予算化もできました。学校関係では伊万里中学校の建て替えの特別教室棟が出来上がるこ

と、東山代小学校の改修に向けた設計、デジタル教科書やプログラミング、GIGA スクールなど、少しずつでも良くなっていけばと思います。公共施設の規模適正化についてファシリティマネジメントということで進めており、学校についても同じように進めていただいています。総合教育会議を通じて市長部局と教育委員会が一体となり、よりよい教育と魅力ある地域づくりの実現を目指して本市の持続的な発展に向け取り組んでまいりたいと思っています。先ほど記者会見を行い4つの施策を進めたいと話しました。産業の振興や伊万里港の振興、特産品などありますが、これらは別々にできるものではなく、教育を中心に一体化して、これからの伊万里が持続的に発展していく必要があると思います。総合教育会議が有意義なものになりますよう皆様の真摯なご意見を受けながら進めたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

事務局（企画政策課長）  
教育長

教育長から挨拶をお願いします。

おはようございます。教育委員会では日頃から市長部局と連携をとらせていただき、伊万里市の教育行政の推進に努めています。感謝を申し上げます。新型コロナウイルス感染症がなかなか落ち着きを見せてくれず、学校においても、毎日マスクをつけて、手洗い、消毒を行い、密を避け、大きな声を出さないといった対策を徹底しながら学校生活を送っています。また、スポーツや文化活動におきまして、先般の東西松浦駅伝、県内一周駅伝では、伊万里市の皆さんは大変活躍され、嬉しいニュースが入ってきたところです。しかしこれらも規模を縮小しての開催でした。文化活動におきましては、今年度、文化財関係の大きな大会を2つ開催させていただき、腰岳黒曜石のシンポジウム、先週の鍋島焼調査研究発表会、どちらも本来であれば、広いホールで全国から専門家や興味のある方をお呼びして対面で開催する準備を進めて参りましたが、あいにくのこの状況でしたので、市民図書館のスクリーンを使いオンラインで開催したところです。様々な場面において感染対策を徹底し、できる形を工夫しながらコロナ禍を乗り越えようと頑張らせていただいています。今年度はGIGAスクール構想による子どもたちの1人1台のタブレット端末の整備があり、教室で学ぶ子どもたちの学習の姿も大きく変化してきています。学校には誘致IT企業からの支援員が配置され端末操作やトラブル対応などの支援をいただいています。教職員も自ら研究会を立ち上げて授業研究を行っており、今後も児童生徒の主体的で深い学びにつながる研究を深めてもらいたいと思います。学校規模適正化については、いよいよ3月に滝野小・中学校が閉校し、東山

代小学校、国見中学校と統合し、新しい学校づくりが4月から始まります。また先日2月4日には学校規模適正化協議会から最終答申をいただきました。このように教育をめぐる課題は山積してありますが、総合教育会議が有意義な協議・調整の場となり、今後市長部局と教育委員会が連携して伊万里市の教育を進めてまいりたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局(企画政策課長)

議事録署名者を選任します。酒見教育委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

酒見教育委員

はい。

事務局(企画政策課長)

議題の審議に入ります。本日は法に基づき会議は公開としております。しかしながら、個人情報に触れる部分や会議の公正が害される恐れがあると認めるとき、その他公益上の必要性があると認めるときはこの限りでないとしておりますので、会議の過程においてこのような部分に議論が至る場合には、傍聴の方にご退席いただくことがありますのであらかじめご了承くださいと思います。これからは設置要綱第4条第1項の規定により、市長が会議の議長になるとされておりますので、以降の進行につきましては市長にお願いします。

#### 【議題1 いじめ・不登校の現状と対策について】

議長(市長)

議題の審議に入ります。(1) いじめ・不登校の現状と対応について、説明をお願いします。

学校教育課長

令和3年度1月末時点におけるいじめ認知件数を報告します。小学校283件、中学校101件、合計384件の報告があります。件数が多いという印象があると思いますが、いじめの認知件数については、例えば軽くぶつかられても、ぶつかられた方が嫌だと苦痛を感じた場合は積極的に認知し早期に対応することになっていきます。軽微なものだと見逃すのではなく、児童生徒の生命に関わる重大事態に発展する可能性もあるという認識のもとに初期対応として認知をしています。事案の態様については、認知件数384件のうち「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が239件、「軽くぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする」が70件となっています。SNS等による大きなトラブルの報告はありませんが、見えにくい、見えていない側面があると思われる。ネットパトロールなどと連携を図り、学校での情報モラル教育の実施、家庭の協力も必要になると思います。いじめ対策については、いじめアンケートによる実態把握と個人面談やカ

ウンセリングなどの早期対応が重要だと考えます。

市いじめ防止対策緊急スクールカウンセラーの活用状況については、年間 50 時間、現在 9 件の活用が 있습니다。最近では、特性のある子どもが冷やかしやからかいを受けたり、逆に嫌がることをしたりという報告も 있습니다。保護者と連携を取りながら緊急性のあるものに対応しています。これまでいじめ対策等緊急スクールカウンセラーとして対応していましたが、事案の要因が複合していることが多いので、より柔軟な対応ができるよう、今年度から県スクールカウンセラー配置事業と市いじめ問題対策事業を統合して対応しています。

次に不登校、30 日以上欠席者の状況について説明します。小学校で 32 名、中学校で 77 名、計 109 名となっています。小学校 32 名のうち 31 名が心因性によるもの、1 名が怠惰・非行によるもの、中学校の 77 名のうち 62 名が心因性によるもの、15 名が怠惰・非行によるものです。怠惰・非行の項目には家庭の事情や環境によって不登校になっているものも含まれ、放任やネグレクトなど保護者の養育能力が関係することがあります。不登校対策では、心因性によるものが多いため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの専門性が求められます。教育支援センターせいらの役割も今後さらに大きくなります。教育支援センターせいらは今年度から本教室と西教室を統合し、現在 14 名が通級しています。新型コロナウイルス感染症の影響で例年どおりのイベントの実施が難しい状況ですが、ニュースポーツや黒髪少年自然の家でのイベント、クリスマス会などが行われ、通級生が楽しく参加しています。不登校支援としてのパソコンの活用ができるよう、パソコン 3 台のネットワーク環境も整備しています。

最後に 1 月 27 日の定例教育委員会においても報告させていただきましたが、1 月 11 日に発生しました伊万里市内の中学校に在籍する生徒が亡くなった事案については、2 月 10 日にいじめ問題対策委員会を開催し、事実関係を明確にする調査を依頼したところです。過去の事例から、重大事態の被害者及びその関係者の意向が全く反映されないまま調査が進められたり、調査結果が適切に提供されないケースがあるという指摘があります。この反省に基づき、被害者及びその関係者の、何があったのかを知りたいという切実な思いを理解し対応していくことが大切であるということを確認しております。

議長（市長）

ただいま説明がありましたが、ご意見やご質問はありませんか。特にないでしょうか。あとから全体的にご質問を受けるとして、

次に進みます。

【議題2 新型コロナウイルス感染症対策について】

① 学校、留守家庭児童クラブにおける感染症対策

議長（市長）

新型コロナウイルス感染症対策について、①学校、留守家庭児童クラブにおける感染症対策について説明をお願いします。

学校教育課長

2月20日現在での学校における陽性者について報告をします。小学校で13名、中学校で4名の陽性者が確認されています。学級閉鎖は小学校2校で2学級が現在閉鎖しており、中学校での閉鎖はありません。2月初旬と比べますと随分減ってきています。学校で陽性者が確認された場合の対応は、陽性者の行動履歴をもとに学校が濃厚接触者を特定し、保健福祉事務所に報告します。その後、陽性者数や濃厚接触者数、ほかの児童生徒の健康状態などを学校医と共に総合的に判断し、学級閉鎖や臨時休校を行うこととなっています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大につれて、特にオミクロン株に変異してからは重篤化する割合が低いことや、保健福祉事務所の業務も逼迫化してきたことから、濃厚接触者の特定状況も変わってきました。以前は陽性者が確認されればその学級全体を対象にPCR検査を行っていましたが、現在はマスク無しで半径1メートル以内、15分以上共に過ごした者を濃厚接触者としています。学校でマスクをはずすのは給食時間くらいで、黙食をしていますので濃厚接触者の特定はほとんどなされないようになってきています。陽性者が確認された場合には、佐賀県教育委員会から配布された濃厚接触チェックリストにより濃厚接触者をリストアップして自宅待機期間などを確定しています。

教育副部長兼教育総務課長

留守家庭児童クラブの対策について説明します。留守家庭児童クラブにおける国の感染症対策の考え方は、保護者が働いて家に1人であることができない年齢の子どもが利用するものであることから、原則開所することになっています。ただし、クラブを利用する児童や職員が罹患した場合、地域で感染が拡大している場合は市町村の判断のもとに臨時閉所することができるとされています。伊万里市においては、現在すべてのクラブが開所しています。小学校で学級閉鎖や学年閉鎖が行われた場合は、クラブ利用者に濃厚接触者がいないか特定を行うと共に、コミュニティセンター等を活用して臨時の児童クラブを開設し、感染者と濃厚接触者を除いた利用者の受け入れを行っています。本日も小学校1校が学級閉鎖になり、臨時のクラブを開所しています。今後の課

題として、複数の学校で学級閉鎖等が行われた場合、臨時のクラブに配置する支援員が不足することが想定され、昨年、市内の学校が臨時休校した際、教職員や市職員を支援員として配置してもらいました。そのような対応がでてくるのではないかと思います。クラブでの感染防止対策として、手指消毒や手洗い徹底のほか、現在感染が拡大していますので、おやつはクラブで食べずに持ち帰り、クラブ内ではマスクをはずさないことを徹底しています。

議長（市長）

ご質問、ご意見等はありませんか。

A教育委員

第6波になってから休校や学級閉鎖はあっているのですか。

学校教育課長

現在、小学校2校、2学級が閉鎖しています。

議長（市長）

ほかにありませんか。

B教育委員

中学校の閉鎖は無いのですか。

学校教育課長

中学校は閉鎖しているところはありません。

B教育委員

私は中学生の子を持つ保護者ですが、情報を入手できる手段が佐賀県や伊万里市の感染者数が上がっているサイトだけで、とても心配です。一番心配するのは自宅待機になった時の学習の遅れです。1人1台のタブレット端末が配備されて1年になります。授業のライブ配信などは検討されているのでしょうか。

学校教育課長

学級閉鎖や濃厚接触者で自宅待機になった場合の学習の遅れは全国的な課題となっています。タブレットの活用についてはセキュリティ面のハードルを1つずつ乗り越えて準備を進めています。学校規模によるところもあり、できるところで実験的にオンラインによる取り組みを試みています。プリント等での学習が主ですが、タブレットのオンラインではなくオフラインでの持ち帰りは許可していますので、学校にいる間にタブレットに学習教材等を取り込んで持ち帰ることも試みています。

B教育委員

試験的にオンライン授業をしてきた自治体もあり、学級閉鎖になったときに素早く対応できたということもあるようです。学習の遅れは家庭で最も心配されることだと思うので、対策が万全であるようにと思います。

議長（市長）

全ての家庭でオンラインにするのは厳しいと思います。タブレットを貸し出す方法もありますがメンテナンスが難しいです。各コミュニティセンターにWi-Fiを設置したのでその環境を使って、地域の近いところで授業を受けることができるようにできないかと思っています。子どもたちが何か困ってもコミュニティセンターの職員がいますし、ICT支援員や学校の先生が1人いれば解決できます。一斉に使える台数は何台なのか確認して、少なければ回線を増やすなど整備していく必要もあります。私はハード面を考え

ていますが、学校では教育面としての使い方を一緒に考えていく必要があると思います。このような支援をするためには人が必要なので、人の問題だと思います。

A 教育委員  
議長（市長）

福岡では先生が自宅から授業を配信していると言っていました。知り合いの大学教授が講義は家からやっていると言っていました。大学生くらいになるとネット環境もありスキルもリテラシーも上がっています。小学生や中学生は、子どもたちだけでなく保護者の皆さんに対する教育もリテラシーの面で必要になると思います。

C 教育委員

他の市で不登校の子どもも同じように授業を受けさせることができたと聞きました。コミュニティセンターの活用もよいと思います。オンラインで話を聴くのは大人でさえ疲れます。大変な時代だと思います。質問ですが、不登校の問題で、スクールソーシャルワーカーは家庭にも行けるので、家庭訪問をすることがありますか。それと、学級閉鎖にはなっていないが保護者の意向で子どもを学校に登校させない例があっているかお尋ねします。

学校教育課長

スクールソーシャルワーカーの一つの特色として家庭訪問ができる、関係課へつなぐことができるということがあり、そのような取り組みを行っていただいています。保護者の意向で登校させない事例はあります。これは保護者の考え方というより、ご家族に持病を持たれている方や医療機関にお勤めの方がいらっしゃるなど、学校への登校を控える方です。

C 教育委員  
学校教育課長

不登校の子どもで民間団体の利用はありますか。こすもす村という NPO 法人が立ち上がり、せいらと連携しながら、子どもたちの居場所を作り上げていかなければならないと思います。

議長（市長）

ほかにありませんか。（なし）

## 【2 ②臨時交付金を活用した感染症対策事業】

議長（市長）

②臨時交付金を活用した感染症対策事業について説明をお願いします。

教育副部長兼教育総務課長

小・中学校管理事業です。指定避難所になっている学校の屋内運動場の屋根の改修を行いました。令和 3 年度に東陵中学校、山代中学校の屋内運動場の屋根の改修を行いました。

学校教育課長

学びの保証対策事業です。小・中学校、義務教育学校における ICT 活用を円滑に進める体制を整備し、コロナ禍における児童生

徒の学びを保証するため、ICTを活用した授業時の端末操作やトラブル対応、オンライン授業などの支援を行うICT支援員を市内学校に5名配置しました。

企画1係長

公共施設感染防止対策事業です。昨年末に新たに国から臨時交付金交3億904万1千円が内示されました。この一部を活用して、公共施設における感染防止対策として、小・中学校、義務教育学校、市民図書館、市民センター、伊万里・有田焼伝統産業会館など公共施設における自動水栓化の工事に着手したいと考えています。予算額は3千400万円です。交付金の残について令和4年度へ約2億円ほど国の方で繰り越していただいております。令和4年度に感染対策事業や経済対策事業を組み立てていきたいと考えています。

議長（市長）

ご質問等はありませんか。自動水栓化は少し時間がかかりますか。物資が不足しているようです。

施設営繕課長

自動水栓については他の物と違って大きく遅れることはないかと確認しています。事業費3千400万のうち消耗品費1千700万円で材料を買い、夏休み中に職員で取替えを行います。電源工事や配管工事を伴うところは業者に委託し、9月末には完了したいと考えています。

議長（市長）

非接触型はとてもいいと思います。各コミュニティセンターの講堂にエアコン設置、トイレの洋式化、蛇口の非接触型への取替えを行い、高齢者の方など特に喜ばれています。小・中学校のトイレの洋式化についても全体の率を上げていくことを考えていく時期だと思います。

### 【3 学校規模適正化協議について】

議長（市長）

学校規模適正化協議について説明をお願いします。

学校教育課長

平成26年2月の答申から5年を経て令和元年7月に再開されました。今回の協議会の諮問事項は、前回までの協議会で附帯事項となっている滝野中学校の統合について、2つ目が今後の伊万里市立学校のあり方についての2点です。令和元年度末には長年の懸案であった滝野校の統合問題について「滝野中学校は国見中学校と統合する。併せて滝野小学校は、東山代小学校と統合する」という答申をいただきましたので、地元と協議を繰り返しながら、この4月から新たにスタートすることになっています。令和2年度からは2つ目の諮問事項である今後の伊万里市立学校の在り方について、中でも優先的に検討する必要のある東陵中学校区の大



川小学校、松浦小学校の児童生徒数と校舎の老朽化の問題、牧島小学校と山代西小学校の複式学級解消について協議していただき、2月4日に最終答申をいただきました。諮問事項2「今後の伊万里市立学校の在り方について」伊万里市の児童生徒数の減少等の状況を踏まえ、市全体の学校の望ましい規模や配置などについて総合的に議論し、今後の伊万里市立学校の在り方について検討した結果、早急に対応が必要と思われる2点について答申する。1、大川小学校と松浦小学校は、児童数の減少と校舎の老朽化に伴い、両小学校を東陵中学校と統合する。2、山代西小学校は、児童数減少による複式学級解消のため、山代東小学校と統合する。その後、時期を見て、山代中学校と統合する。牧島小学校は、児童数減少による複式学級の解消が求められるが、今後の児童数の推移によっては複式学級解消の可能性があることから、今後継続して検討する、というものです。今後のスケジュールとしましては、最終答申を受け、東陵中学校については校舎の老朽化問題があるため優先的に進め、義務教育学校として新たにスタートしたいということです。東陵中学校区については2月中に大川町、松浦町に組織していただいている教育を考える会に報告し、市議会全員協議会への報告を経た後、3月中には両町で地元説明会を開催し、4月以降に両町合同の統合検討委員会を組織して、統合について、そして義務教育学校についての理解を得ていきたいと思います。山代中学校区については、山代西小学校の、山代東小学校への統合を前提に地元との協議を重ね、具体的な統合時期を検討したいと考えています。牧島小学校については今後の児童数の推移を注視しながら、複式学校解消の目途が立たないと判断された場合、次回の協議会において検討することとしたいと考えています。

議長（市長）

ご意見等はありませんか。

D教育委員

東陵中学校区は義務教育学校を目指し、山代中学校区は山代西小学校と山代東小学校との統合を経たのちに山代中学校と統合するという考え方の違いが出てきたのは、どういう考えからですか。

学校教育課長

東陵中学校区については当初から大川小学校と松浦小学校を東陵中学校と統合して義務教育学校にという考え方がありました。山代中学校区は地元の方々と話しをしていく中で様々なご意見があり、山代中学校がこの規模で義務教育学校になった時、部活動が広がる可能性があるのかというご意見や、山代中学校と国見中学校を統合してはどうかというご意見もありました。そのような中で、まずは山代西小学校の複式学級を解消するということが大前提としてありましたので、山代西小学校と山代東小学校を統合

して複式学級を解消する、その後、山代中学校との統合を考えていくというご意見をいただいたところです。

D教育委員

山代中学校区は、なぜ一度に統合しないのかなと思いました。

A教育委員

令和2年度の第3協議会の内容と今回の答申を見て、義務教育学校という文言がなくなり、統合するという表現になっていること、牧島小学校について校区の見直しという文言がありましたが答申には無いことについて質問します。

学校教育課長

義務教育学校という学校の在り方について、まだまだ地元の方や保護者の方の理解が進んでおらず、答申としては統合するという形をとらせていただき、考える会や地元説明会をしていく中で義務教育学校についての説明を繰り返し、理解を得た上で義務教育学校という形をとらせていただきたいということです。牧島小学校については令和6年度入学者から児童数が増え、複式学級が解消していく見込みがあり、複式学級の解消が議論の大きな柱であることから、牧島小学校を単独で残す形になれば校区を見直すことも考えていかなければならないのではないかとご意見もありましたが、現在それについての結論は出ていません。

議長（市長）

現在通学している子どもたちが喜ぶような、統合してよかったとか、子どもたちが1人でもいやだなと思わないような、子どもたちを中心にした考え方を持ってほしいと思います。

教育長

教育委員さん方にも今後いろいろお考えをお聞きしたいと思いますが、学校区や通学路の問題は、社会全体や家庭の過ごし方が変わってきている中で昔のままの形が残っています。これでいいのか、新しい形に向けた考えも作っていかないといけないと思います。どこかでいろいろ変えていく部分もでてくると思いますので、これからもお考えを聞かせていただきたいと思います。

#### 【4 令和4年度当初予算案（教育費）について】

議長（市長）

次に、令和4年度当初予算案（教育費）の主なものについて、説明をお願いします。

教育副部長兼教育総務課長

中学校建設事業です。予算額4億7千558万8千円、継続事業として進めており令和4年度は特別教室棟の完成、既存校舎解体、屋内運動場の床張替を予定しています。次に東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業です。予算額3千114万2千円、耐震基準を満たしていない東山代小学校と東山代児童クラブ、老朽化が著しい東山代コミュニティセンターの3施設を複合施設として整備するため令和3年度から事業に着手しており、令

和3年度に基本設計、令和4年度は実施設計を行います。

学校教育課長

小・中学校遠距離児童生徒通学支援事業です。予算額6千274万8千円、遠距離を通学する児童生徒の保護者の負担軽減を図るためスクールバス等を運行するとともに、通学費を補助するものです。

スポーツ課長

国見台体育施設改修事業です。予算額4千409万5千円、国見台陸上競技場が令和4年度に第3種公認の更新時期を迎えるため、認定に必要なトラック走路の改修工事や備品の整備を行うものです。

議長（市長）

ご質問等はありませんか。東山代小学校の計画図はどのようになっていますか。

施設営繕課長

現在3案あり、建築基準法など様々な条件を確認しながら整理しています。地元の建設促進委員会の了解を得て、実施設計に進みます。

B教育委員

伊万里中学校の工事がすべて終了するのはいつですか。

施設営繕課長

校舎は今年度完了します。引っ越しを行い、既存校舎の解体、体育館床改修、剣道場整備、グラウンド整備を行って令和4年度完了予定です。

B教育委員

それが終了してから東山代小学校の事業に移るのですか。

施設営繕課長

東山代は令和4年度に実施設計、5年度から校舎建築工事です。伊万里中学校の建物が完了して速やかに東山代に移行します。

議長（市長）

教育委員会と施設営繕課の職員にがんばってもらっていると思います。予算規模も大きく、かなりの事業量があり大変な苦勞です。コロナ対策の蛇口の付け替えから学校建設まで負担をかけていますが、子どもは一日一日大きくなりますので是非いいものにしていききたいと思っています。全体的に何かありませんか。

企画政策課長

先ほどD委員からお尋ねのあった東陵中学校区と山代中学校区の件について補足します。ファシリティマネジメントの観点から計画書を作ったものを学校規模適正化協議会で協議してもらった経緯があり、当初案がそうなっていました。2年ほど前の数値ですが、校舎について大川小学校が古いもので63年経過、新しい方でも50年、松浦小学校も60年、50年経過です。山代西小学校は26年、山代東小学校が17年経過で、校舎のことを考えると、東陵中学校区を先にしたいというのがその時の判断でした。

D教育委員

わかりました。

議長（市長）

ほかにありませんか。（なし）今日は教育委員の皆さんから貴重なご意見を伺ったと思います。教育をめぐる問題はコロナという新しい問題も踏まえ、まだまだいろいろあると思います。今後も

市長部局と教育委員会が一緒になってより良い方向に持っていきたいと思います。子どもたちは伊万里の宝です。子どもたちが小学校や中学校を卒業して伊万里を出るかもしれませんが、伊万里に対していい思いを持って卒業してほしい、就職できる企業があれば帰って来ようと思うように育ててほしいと思っています。そういう子どもたちが育つ環境づくりについては学校の先生方をお願いすることがたくさんあると思います。教育委員の皆さん方が十分ご存知だと思いますので、市長部局も皆さん方と一緒にやっていきたいと思っています。これからも子どもたちのために総合教育会議を実りあるものにしていきたいと思っています。これで令和3年度第2回総合教育会議を終わります。

(午前 11 時 38 分 閉会)